

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 3 区分
【発行日】平成 17 年 2 月 3 日 (2005.2.3)

【公開番号】特開 2002-140404 (P2002-140404A)
【公開日】平成 14 年 5 月 17 日 (2002.5.17)
【出願番号】特願 2000-335882 (P2000-335882)
【国際特許分類第 7 版】
G 0 6 F 17/60
【F I】
G 0 6 F 17/60 1 1 4

【手続補正書】
【提出日】平成 16 年 2 月 26 日 (2004.2.26)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】データベース統合処理方法及びその実施システム
【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

複数の分野を流通する物品の各分野での物品情報を統合した統合物品情報を処理するデータベース統合処理方法であって、個々の物品を識別する為の物品 ID とその物品 ID で識別される物品の情報を示す物品情報とを対応付けてその分野の物品情報データベースに蓄積するステップと、各分野の物品情報データベースに蓄積されている物品 ID 及び物品情報をデータベース統合処理装置に送信するステップと、各分野の物品情報データベースから受信した物品 ID 及び物品情報の内で、物品 ID の等しい物品情報を統合して統合物品情報を生成し、物品 ID とその物品 ID で識別される統合物品情報と対応付けてデータベース統合処理装置の統合データベースに蓄積するステップと、所定の物品 ID に対応する統合物品情報の送信をデータベース統合処理装置に要求するステップと、前記要求された統合物品情報を統合データベースから読み出してその統合物品情報の要求元に送信するステップと、前記送信された統合物品情報を受信して出力するステップとを有することを特徴とするデータベース統合処理方法。

【請求項 2】

前記個別 ID は個々の物品に付加された電子回路チップに記録されたものであることを特徴とする請求項 1 に記載されたデータベース統合処理方法。

【請求項 3】

前記電子回路チップは、外部から送信された電波を受信し、前記電子回路内に記録されている物品 ID を外部に送信するものであることを特徴とする請求項 2 に記載されたデータベース統合処理方法。

【請求項 4】

前記物品情報データベースに蓄積される物品情報は、物品の生産の際に得られる生産者側情報、物品の運送の際に得られる運送業者側情報、物品の販売の際に得られる販売店側情報または物品の消費の際に得られる消費者側情報であることを特徴とする請求項 1 乃至請

求項 3 のいずれか 1 項に記載されたデータベース統合処理方法。

【請求項 5】

物品 ID と物品情報とを対応付けて物品情報データベースに蓄積したときに、その物品 ID 及び物品情報をデータベース統合処理装置に送信することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか 1 項に記載されたデータベース統合処理方法。

【請求項 6】

ある物品に対する評価情報が入力されたときに、その物品の物品 ID とその物品 ID に対応付けられた物品情報をデータベース統合処理装置に送信することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか 1 項に記載されたデータベース統合処理方法。

【請求項 7】

所定の物品 ID に対応する統合物品情報の送信が要求されたときに、その物品 ID とその物品 ID に対応付けられた物品情報をデータベース統合処理装置に送信することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか 1 項に記載されたデータベース統合処理方法。

【請求項 8】

前記統合物品情報に当該物品の評価情報または販売情報が含まれている場合に、その評価情報または販売情報と相関の高い物品情報を分析して要求元に送信するステップを有することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 7 のいずれか 1 項に記載されたデータベース統合処理方法。

【請求項 9】

特定の物品の物品 ID を情報処理装置に内蔵されたセンサで読み取るステップと、その物品 ID で識別される統合物品情報の送信を情報処理装置からデータベース統合処理装置に要求するステップと、前記要求された統合物品情報を統合データベースから読み出してデータベース統合処理装置から要求元の情報処理装置に送信するステップと、前記送信された統合物品情報をデータベース統合処理装置から受信して情報処理装置の表示画面に表示するステップとを有することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 8 のいずれか 1 項に記載されたデータベース統合処理方法。

【請求項 10】

複数の分野を流通する物品の各分野での物品情報を統合した統合物品情報を処理するデータベース統合処理システムであって、個々の物品を識別する為の物品 ID とその物品 ID で識別される物品の情報を示す物品情報とを対応付けてその分野の物品情報データベースに蓄積する物品情報蓄積処理部と、各分野の物品情報データベースに蓄積されている物品 ID 及び物品情報をデータベース統合処理装置に送信する物品情報送信処理部と、前記各分野の物品情報データベースから受信した物品 ID 及び物品情報の内で、物品 ID の等しい物品情報を統合して統合物品情報を生成し、物品 ID とその物品 ID で識別される統合物品情報と対応付けてデータベース統合処理装置の統合データベースに蓄積する統合物品情報蓄積処理部と、所定の物品 ID に対応する統合物品情報の送信をデータベース統合処理装置に要求する統合物品情報要求処理部と、前記要求された統合物品情報を統合データベースから読み出してその要求元に送信する統合物品情報送信処理部と、前記送信された統合物品情報を受信して出力する統合物品情報出力処理部とを備えることを特徴とするデータベース統合処理システム。